

<u>クラス：</u>	<h1 style="color: red;">聴く・話すための発音</h1> <h2 style="color: red;">EPrM-62AH</h2> <p style="color: red;">～夏のスペシャル 世界の英語～</p>
<u>曜日：</u>	Saturday
<u>時間</u>	14:30-16:20
<u>レベル：</u>	中級
<u>講師：</u>	Ms.大石美幸
<u>目的：</u>	<p>本講座は「発音のための発音」を超え、よりスムーズなコミュニケーションを目指して「英語の音の特徴と仕組み」を学び、より「英語らしい音、リズム、メロディー」を身につけることを目的とします。</p> <p>「英語らしい音を発する」と聞き取り力も上がり、結果コミュニケーションがより円滑になります。「ネイティブスピーカーのように発音すること」ではなく、「一回で通じる相互意思疎通」と、それによって生まれる「自信」を最大の目的に掲げ学びます。</p> <p>夏のスペシャル版では、上記の学びと目的をベースにしながらも、通常講座ではカバーしきれない箇所を扱います。今夏は「世界の英語」と題し、いわゆる「標準英語」とされている音以外の音に焦点を当て、「よりよい意思疎通」につなげられるよう学んでいきます。</p>
<u>授業内容：</u>	<p>世界で話されている英語を国や地域で分類すると、英語を1) 第一言語とする国、2) 公用語とする国、3) 第二言語として学び、使用する国に分かれますが、音に着目して分類すると、国境や第一言語か否かなどでは分類しきれない様々な違いや特徴が存在します。学習者泣かせのこうした音のバリエーションを次の視点からおさえていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語中語尾の R を発音する地域、しない地域（主に米英の違い、その他アイルランド、スコットランドなどの R 音） 2. 同じ語なのに地域によって発音が違う 母音編 3. 同じ語なのに地域によって発音が違う 子音編 4. 様々な英語（母語話者、公用語話者、第二言語話者、学習者の英語） 5. 様々な英語を学ぶ目的一通じる英語を目指して一
<u>教材：</u>	プリント配布